

令和元年度第1回滝沢市社会教育委員会議（顛末書）

- 1 件名 令和元年度第1回滝沢市社会教育委員会議
 2 日時 令和元年7月11日（木）午後2時から午後3時45分まで
 3 場所 滝沢市役所2階201・202会議室
 4 出席委員

委員15人のうち12人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

No	氏名	役職	所属など	出欠
1	嶋野 重行	議長	盛岡大学短期大学部 教授	○
2	高橋 弘美	副議長	滝沢市地域婦人協議会長	○
3	菅野 道生	委員	岩手県立大学 社会福祉学部 准教授	—
4	松田 栄二	委員	国立岩手山青少年交流の家 所長	—
5	木村 史彦	委員	滝沢小中学校長会（篠木小学校長）	○
6	小向 和秀	委員	日本赤十字社岩手県支部 J R C 担当	○
7	下田 富幸	委員	滝沢市自治会連合会長	○
8	藤田 重治	委員	滝沢市教育振興運動推進協議会長	○
9	主濱 恵悦	委員	滝沢市子ども会育成連合会長	○
10	佐々木昭司	委員	滝沢市芸術文化協会 副会長	○
11	切金 一夫	委員	滝沢市少年補導員連絡会長	○
12	鍵本 桂	委員	滝沢市商工会青年部 副部長	—
13	小島 勝子	委員	滝沢市レクリエーション協会会長	○
14	大畑佳代子	委員	滝沢市国際交流協会 事務局長	○
15	山口 恒司	委員	滝沢市 P T A 連絡協議会長	○

5 出席職員

No	氏名	所属・役職など	担当分野
1	熊谷 雅英	教育長	—
2	長嶺 敏彦	教育次長	—
3	三浦 信吾	生涯学習スポーツ課長	—
4	小野 雅悌	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）	—
5	横澤美保子	文化振興課 総括主査	図書館
6	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 主任主査	文化財
7	細川 健一	生涯学習スポーツ課 主任主査	生涯学習 社会教育
8	菅波啓司郎	文化振興課 主任	文化芸術
9	立花 仁志	生涯学習スポーツ課 主事兼社会教育主事	スポーツ

6 会議内容

- (1) 開会
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 議長及び副議長の選出
- (4) 議事録署名人の任命
- (5) 報告
 - ア 平成30年度社会教育事業実績について
 - イ 第1次滝沢市生涯学習推進計画後期基本計画学びプランたきざわについて
- (6) 協議
 - ア 令和元年度社会教育行政の方針と計画について
- (7) 閉会

7 質疑応答など

(1) 報告

委員 今回、生涯学習推進計画とスポーツ推進計画の統合がなされました。これに伴い、生涯学習推進協議会においてもスポーツ分野に関する委員を増やすなど委員構成変更やスポーツ推進審議会との統合も考えてほしいです。

事務局 生涯学習推進協議会は、このまま継続して運営します。スポーツ推進審議会は、両計画統合に併せて両協議会統合も検討された時期もありましたが、現在では、二つの会議を同時進行で運営することとなります。

委員 生涯学習推進計画とスポーツ推進計画を統合するのであれば、生涯学習推進協議会とスポーツ推進審議会も統合することも検討してほしいです。

事務局 生涯学習推進協議会にも市体育協会からの委員も含まれています。両計画統合の折、生涯学習推進協議会とスポーツ推進審議会の統合も事務局からスポーツ推進審議会にて提案させていただきましたが、当面の間は従来通り継続することとなりました。今後、例えば、生涯学習推進協議会にスポーツ分野に関する委員を増員する方法など両会議でご意見をいただきながら考えて参ります。

委員 SDGsセミナーに私も参加しましたが、高校生や大学生など20人を含む約40人が参加するなど今までにない画期的な国際理解・国際交流講座となりました。滝沢市で行うセミナーなどで市内居住・近郊の高校生がたくさん参加する機会は非常に乏しく、今後も継続して取り組んでほしいです。SDGsに関する学びへの若い人たちのニーズが高いことも分かりました。

事務局 市が開催するセミナーやイベントに盛岡北高や盛岡農高から高校生が参加する機会は結構ありました。しかし、滝沢市内に居住し、その二つ以外の盛岡市内の高校に進学した高校生が集う機会はとても少なかったです。

今回は、盛岡北高や盛岡農高のみならず盛岡中央高校や不来方高校など市内居住者から近郊居住者、奥州市と一戸町からも駆けつけてくれました。市が目指す若者活躍・若者定住につながるエポックとなる画期的なセミナーとなりましたので、今後とも継続して取り組んで参ります。

(2) 協議

- 委員 チャレンジデー実行委員会が発足されましたが、チャレンジデーをよく理解していない委員も見受けられますので、もっと時間を掛けて丁寧に説明を重ねながら来年度の勝利を目指してほしいです。
- 委員 もっと周知徹底を早くかつ分かりやすい説明してほしいです。実行委員会の皆さんの苦勞が報われる方法を考えてはどうでしょうか。
- 委員 地域の取り組みも大事ですが、家庭の取り組みも周知徹底することで参加率上昇が見込まれますので、次回はもっと早めにPR活動を展開してほしいです。また、今回の総括を早く実行委員会を開催して示してほしいです。
- 事務局 平成30年7月1日の岩手山開き登山の折、当時の柳村市長が山頂で滝沢市健康づくり宣言を行いました。同年11月から、主濱市長となり「生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができる滝沢市」の実現を目指して、全庁規模による健康づくりと生涯学習の推進に取り組んでいるところであります。その一環として、チャレンジデーに挑戦しましたので、急ピッチで進めましたので、準備・周知不足もありましたが、短時間の初挑戦にも関わらず参加率38.8%を達成し21,431人が参加。ユニークなPR活動が評価されアイデア賞を受賞することができました。
- 委員 滝沢中央小学校が本年度より新設されました。来年度からは学校体育施設開放が開始されると思いますので周知PRをお願いします。
- 委員 社会教育行政の方針と計画において重点課題設定や数値目標、評価（A～Eなど）することでより分かりやすくなると感じました。
- 事務局 今まで実績はありましたが成果と課題、評価が乏しかったと思います。具体については今後の検討課題とさせていただきますが、次回からは成果と課題をお示ししたいと思います。
- 委員 滝沢市郷土芸能まつりは、かつて「青少年」も加わっていましたが、出場団体や入場者数に限りがあるため現在の名称に改めた経緯があります。現在、各郷土芸能団体は高齢化と会員減少が進んでいますので、数少ない郷土の歴史と郷土芸能を守り育てて参りたいと思いますので重点課題と捉えてほしいです。
- 事務局 郷土芸能団体との定期的な協議会を重ねながら、周知PR方法なども話し合いながら進めていますが成果につながらない場合もあります。小中学校とも連携・協働しながら新たな児童生徒の参加を進めて参りますが、成長に伴い郷土芸能から離れてしまう場合もあります。ですが、再び滝沢市に戻ってきたときにかつて親しんだ郷土芸能を継承してもらえそうな環境づくりを目指して参ります。
- 委員 郷土芸能発表会の折、衣装や装束、鳴り物の展示が来場者の目を引きましますし、盛岡大学の石先生と日向清一さんの司会も素晴らしいので続けてほしいです。
- 事務局 石先生は現在、東京の国学院大学にいらっしゃいますが週末には自宅のある滝沢市にお帰りになっているようですので今後検討して参ります。